

ランピースキン病感染拡大防止！

～車両や人による農場から農場への伝播を防止しましょう～

ランピースキン病は、主にサシバ工等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないため

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！

車内に入り込んだサシバ工等も、確実に殺虫！

特に寒い時期、サシバ工等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に
集まったハ工



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバ工等が入り込む可能性があるので、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接接触れる者

農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
注射針、人工授精用器具等は確実に一頭ごとに交換又は消毒
聴診器等、皮膚に接触する器具も適切に消毒！

11月6日に発生したランピースキン病は12月13日現在福岡県で18事例、熊本県で2事例確認されています。

令和6年12月10日付け農林水産省消費・安全局動物衛生課長及び畜産局食肉鶏卵課長通知

【ランピースキンワクチン接種牛の取り扱いについて】

・アメリカ合衆国との協議を踏まえ、現時点で以下が求められています。

※米国向け輸出牛肉取扱施設：全国16施設

岐阜県内では飛騨食肉センター〈飛騨ミート農業協同組合連合会〉が該当

- ・ワクチン接種県（現時点：福岡県のみ）に由来する牛は、令和6年12月12日以降米国向け輸出牛肉取扱施設に出荷・搬入しない
- ・ワクチン非接種県にある施設のみ輸出可能
- ・輸送時にワクチン接種牛と非接種牛を同乗させない

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。 土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。